

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪商業大学新キャンパス材	階数	地上4F
建設地	大阪府東大阪市御厨栄町1丁目226	構造	S造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	900 人
気候区分	5地域	年間使用時間	2,300 時間/年
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年10月2日
敷地面積	8,710 m ²	作成者	久米設計 沼田典久
建築面積	2,713 m ²	確認日	2015年4月10日
延床面積	7,466 m ²	確認者	久米設計 沼田典久



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 65%
 ③上記+②以外の 60%
 ④上記+ 60%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 アリーナと教室等の多様な活動をする諸室を上下に積層させながら、自然換気をしつつ、アリーナ及び教室を快適に利用できるように遮音性能に配慮した計画。1階周りに大きなピロティや、地域に開放する諸室を設け、敷地の東側を広場や植栽を整備し、周辺地域にも快適な環境を提供する計画。		その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 4階のアリーナ利用時にもセミナールーム、中講義室、ラーニングcommons等で自然換気しながら授業が可能なるよう、音響シミュレーションを行いながら遮音性能に配慮した計画。	Q2 サービス性能 ゆとりのある天井高、温かみのある内装計画。耐震性能も保有水平耐力を基準法の1.25倍以上確保。ゆとりのある階高とし、設備の更新性にも配慮した計画。	Q3 室外環境(敷地内) 大きなピロティ(みくりやモール)を確保。地域に開放する部屋も配置。敷地内及び屋上に緑化を広範囲に行っている。
LR1 エネルギー 庇を設けたり、居室の開口部にはLow-Eガラスを採用し、PAL値を基準値より38%削減。自然通風が良く効くように建具等の配置に配慮。	LR2 資源・マテリアル 節水型の衛生器具を採用し、雨水を植栽の自然灌水、散水等へ利用。太陽光発電も設置。	LR3 敷地外環境 駐輪場、駐車場整備。駐車場はIN、OUTの出入口2ヶ所整備している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0060

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】		建物名称	(仮称)大阪商業大学新キャンパス校舎新築工事					
		建設地	大阪府東大阪市御厨栄町一丁目226-2,227,228,229-2					
		用途/区分	学校 物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					5		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			4.6	5		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		5.0				
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		4.0				
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		5.0				
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0				
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.8				
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			3.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			4.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称		考慮事項				
		太陽光発電設備		太陽光発電による自然エネルギー利用を行っている。				
特に配慮した事項								